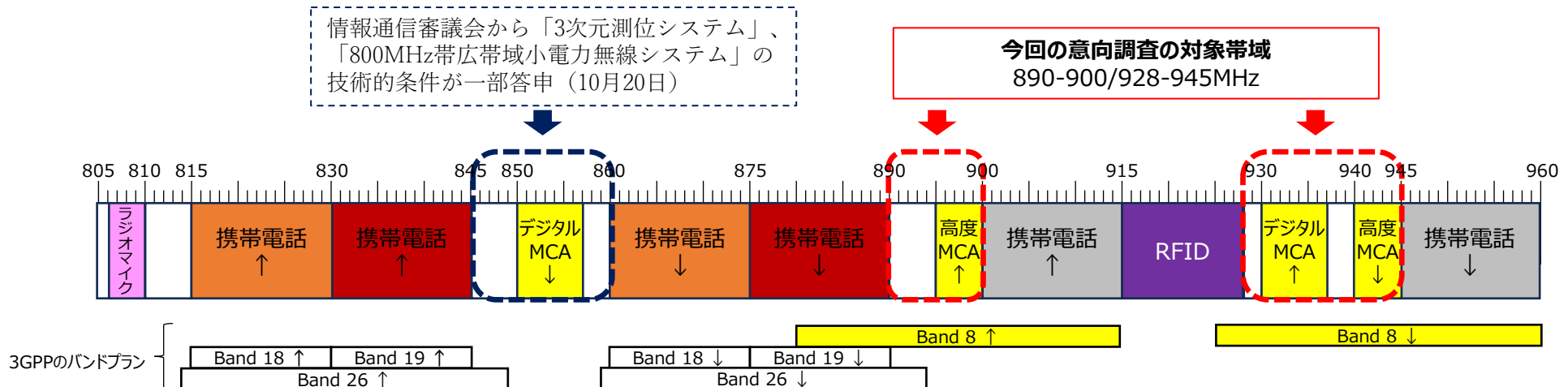


## 背景

- 895-900MHz及び940-945MHzを使用する高度MCAについては、一般財団法人移動無線センターが令和9年3月末をもってMCAアドバンスサービスの提供を終了することを公表（令和6年7月1日）。
- これを踏まえ、周波数再編アクションプラン（令和6年度）において、「高度MCA無線通信システムについて、令和9年3月末をもってサービスを終了するとの発表があったことを踏まえ、代替可能なシステムへの移行を促進するとともに、サービス終了後の周波数の活用方策について検討していく。」としているところ。
- 令和11年5月末をもって終了予定のデジタルMCAの帯域も含め、その跡地の有効利用を図るため、890-900MHz及び928-945MHzについて、8月25日から10月1日にかけて利用ニーズの調査を実施。

ニーズ調査にあたっては、(1) 高度MCA無線通信システムに係る参入希望、(2) 3GPP技術仕様に準拠した移動通信システムの提案、(3) 新たな無線利用に係る具体的なシステムの提案の3つの区分で調査を実施した。

## 920MHz帯の割当状況



## 調査結果

### (1) 高度MCA無線通信システムに係る参入希望

- MetCom株式会社

### (2) 3GPP技術仕様に準拠した移動通信システムの提案

- 株式会社NTTドコモ
- 楽天モバイル株式会社

### (3) 新たな無線利用に係る具体的なシステムの提案

- 有限会社プリシード
- Wi-SUN Alliance
- MetCom株式会社
- 802.11ah推進協議会
- 一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構

## 今後の進め方（案）

